

平成15年9月25日(木)

| | | |
|---|-------|--------|
| ○ | 再 会 | 10時00分 |
| ○ | 教育委員会 | 10時00分 |
| ○ | 職員挨拶 | 10時06分 |
| ○ | 決算説明 | 10時07分 |
| ○ | 質 疑 | 11時12分 |

問 学校振興費中外国人学校振興助成事業費はどこを対象にどれだけ助成されたのか。また外国人学校児童・生徒就学援助費についても同様に教えていただきたい。あわせて国庫補助などあるのかも教えていただきたい。

答 外国人学校振興助成事業費は朝鮮人学校に対する補助金である。生徒255人に対しての補助である。

問 外国人学校児童・生徒就学援助費は朝鮮人初級88人、中級44人に対する就学援助を同様に行っている。国庫補助等はない。

答 教育振興費中、就学援助費の要・準要保護生徒就学援助費の対象者は小学、中学それぞれいくらか。また具体的な援助方法について教えていただきたい。

問 中学に係る部分で延べ2,386人、学用品の援助が1,323人、校外活動に対する援助が149人、新入学学用品等支給が450人、修学旅行で395人の内容である。

答 小学に係る部分で延べ81人、学用品の援助が40人、校外活動に対する援助が9人、新入学学用品等支給が17人、修学旅行で11人、通学で4人の内容である。

問 パソコン設置台数は小学校、中学校それぞれ何台か。

答 小学校2人に1台、中学校1人に1台、パソコン教室に小学校20台、中学校40台をパソコンルームに設置している。

問 学校栄養職員の勤務形態は。また手当などはあるのか。

答 県の他の学校の勤務形態と何らかわりはない。配置については55.0食を基準として実施校を決定している。手当はない。

問 給食費の徴収方法について教えていただきたい。

答 小学校57校中、手集金5校、銀行振込み52校である。

問 養護学校スクールバス運行委託先はどこか。

答 交通局へ委託している。

問 物品として美術工芸品類を661点所有しているが、最も高価な作品の内容は。

答 美術館の中で言うと、ポールデルヴォー「水のニンフ」が1億5,882万円、村上華岳「樹下禅観乃図」が8,925万円、ルネ・マグリット「観光案内人」が6,700万円、となっている。これは購入価格である。

要 望 子供の頃からパソコンに親しむことは大切だと考えている。できるだけ多くの生徒が使えるよう設置されたい。

問 ポールデルヴォーは有名なのか。

答 ベルギー美術を重点的に購入している。ポールデルヴォーの「女神」3点を1億円で購入することから始まり、かなり充実した。価値は高いものと考えている。

要 望 美術館の外観、周辺の景観、芝生の広場はとてもすばらしく、観光資源として、もっと活用できるものと考えている。現在の経済状況から良い作品を購入することはたやすい事ではないことも理解できるが、今後もより良い美術品を購入され、美術館内外の価値を更に高め、観光の目玉となるよう尽力されたい。

問 教育指導費中、旅費の執行率が半分である理由は。

答 初任者研修など中核都市へ移行したことから、県で実施するものが増えたことにより、執行率が半分ほどになった。

問 小学校57校、中学校27校、高校3校、幼稚園の旅費に差が生じている理由は。

答 対象人数、距離によって金額が変更するもので、高校においては各種大会、修学旅行先によって変更する。

問 クラブ活動振興事業費について県大会、全国大会の参加費用に使われているが、委託費となっている。その委託先と委託内容は。

答 姫路市中学校部活振興会へ委託している。内容は中学校総体、姫路市内の大会、県、全国大会の旅費について業務委託している。事務費は入っていない。

問 支出決定書に旅費の明細が添付されていない。内容は把握されているのか。

答 出張命令書には添付している。すべて旅費規定に基づき支出している。

問 クラブ活動事業費は文化部へも支給されるのか。

答 文化部へも補助している。1校につき1回支出されている。

問 教育費予算は横ばい、決算についてはどうか。このことに対する見解は。

答 予算額の増額のお願いはしている。税金の関係もある。

問 高等学校授業料と幼稚園使用料の収入未済額がない理由は。

答 年度末にはすべて収めてもらっている。支払の困難な方には別途相談にのっている先生が相談にのり、情報交換している。

問 人権啓発事業補助金にて69グループで事業を行なっているとのことであるが、グループの内容は。

答 14地域に69グループ存在している。

問 入場料収入の執行率が74パーセントであった理由は。

答 美術館、文学館において入場者数が減少したことによる。企画展にて更なる入場者数の増加を図っていきたい。

要 望 高等学校授業料と幼稚園使用料については修学援助対象者全員が利用していただけるようお願いしたい。

問 埋蔵文化財発掘調査受託料、682万4,000円が未収となった理由は。

答 原因者負担ということでツカザキ病院に対して請求している。当初の想定よりも規模が大きかった。現在も協議中である。

問 補導活動経費の内訳は。

答 288人の補導員に対し最低週1回、2時間、校区内外の補導をお願いしている。年間7~8,000人ほどに声かけや喫煙補導を行っている。地域の中・高校生との関わりがうまくいっているものと考えている。

委員長 防犯協会とも連携をとりたい。

○ 休 憩 12時00分

○ 再 開 13時00分

問 図書館の本の選定方法を教えていただきたい。

答 一般書で25万2千冊、児童書で2万6千冊あまりを購入している。古くなったものは1冊を図書館に保管、残りはリサイクルなどに回すなどしている。新書は毎週千点ほどが発行されているが、図書館司書職員が図書選考委員会にかけ購入している。

問 図書館利用者数は。

答 合計61万4千人が利用、うち一般書の利用者が47万9千人、児童書が13万5千人が利用された。貸出し冊数が205万6千冊、一般書が139万6千冊、児童書が66万冊であった。

要 望 更に図書の実に努められたい。

問 校舎建設に伴う初度調弁費の内容は。

答 小学校については大規模改修で料理教室、理科室、図工室、2校、ランチルーム、メンタルルーム3校、給食室2校、屋内運動場1校の使っている。

問 非常勤講師給与費の内容は。

答 62名の講師が在籍している。週1～4時間の持ち時間で部活指導していただいている。文化部、運動部両方で行っている。国庫補助金も含まれている。それぞれの学校のの事情を聞いた上で配置している。

問 ふたば教室、杉の子教室の決算額と請求書の額の差異について教えていただきたい

教師の謝礼額の減少や、受講人数の減少、増加調整しているため、差異は生じる。

問 売り払い収入が予算額よりも下回った理由は。

問 市史の売れ行きが悪かったことが原因である。

問 非常勤教師の配置基準は。

問 子供たちの希望から適任の指導者を募り、配置している。

問 文化振興財団への補助金額は。またスポーツ振興財団への補助金額は。

問 1億3千万円、3億1千万円である。

問 入学式等の花代が学校によってまちまちであるが何か基準はあるのか。

問 特に決まりはない。各が学校に任せている。

問 コピー用紙の単価は同じではないのか。

問 コピー用紙については共同発注している。

問 予算額に対する入場料収入の割合は。

問 美術工芸館40パーセント、姫路城83パーセント、文学館の常設展16.5パーセント、企画展22.7パーセント合計で18.9パーセント、美術館39パーセント、水族館80.6パーセント、科学館59.5パーセントである。

要 望 振興財団の決算書類が2種作成されているが、今後は統一できるよう努力されたい
委員 決算時に統一できない要素もあるかと思うが、その差異を理解して適切な答弁をされるようお願いしたい。

問 社会人権教育振興費中、校区同和に使われているものの内訳は。

問 校区同和の委託料1,425万円、残りは「共に学ぶ」まとめ資料作成費等である
教材用備品設備整備費、一般教材購入費の中で学校図書館図書費として使われているのはどれくらいか。

答 小学校が1,695万円、割合は44.8パーセント、中学校1,721万円、56.8パーセントである。平成13年度よりも増額している。

問 学校へは図書費として明確に区分し配分している。他の名目では使えない。

問 非常勤講師の占める割合はどれほどか。また学校運営にはどの様に携わっているのか。

答 割合は7パーセントほどである。病欠や産休など欠員が生じた場合に勤務していただいている。学校運営を切れ間なく行っていく為に重要であると考えている。学校運営には教師と同じように参加してもらっている。

問 美術品購入等経費が約1億円削減されたとのことであるが、集客力を高める美術品を購入できないのか。

答 美術館は3つの柱で運営している。第1に郷土ゆかりの作品、第2に日本近現代美術、3つにベルギー美術である。この4月に国富コレクション室も開設したことにより、集客力のアップに繋がるものと考えている。今後もより良い美術品の購入に努めたい。

問 野外活動運営費中、藤ノ木山、引原の改修内容は。

答 藤ノ木山については耐震工事、スロープの設置、宿泊室、会議室等の内部改修を行った。引原野外活動センターについては同じ改修工事の設計費である。

問 同和加配教員は現在どうなっているのか。また校区同和の検証は行ったのか。

答 平成15年度より児童生徒支援加配教員と名称が変更した。配置対象校は地区で指定せず生徒指導が必要な学校、生徒へきめ細やかな指導が必要な学校へ配置している。また外国人生徒の多い学校や養護施設へ通う児童が通う学校へ配置されている。

校区同和の検証は人権教育検討懇話会で検証している。

問 学校建設費中造成整備事業費はどここの学校にどのような順番で行ったか。
答 整備が古いものの順に整備を行っている。

問 臨時職員の身分は県職か市職かまた中学での学校への関わり方は、法的に教師と同じ取り扱いでいいのか。

答 小学校、高等学校に配置しており、時間で入ってもらっている。各学校の校長によって違う。できるだけ職員会議などにははいつてもらっている。

問 文化団体への補助金一覧について年2回団体を公募で選んでおり、平成14年度助成件数41件、金額1,012万円、平成14年度事業報告書の中の文化振興事業で助成件数317件とあるが、助成の要件は個人も団体も同じか。

答 文化振興財団の公演助成がほとんどで、うち41件が公募による補助である。団体、個人問わず申請主義にて行っている。

委員長 学校週5日制に移行し、学校教職員の能力アップを図らねばならない。教育指導費中、研修費、教員研究研修業務費で、2,513人が研修を受けたとの説明があったが、このぐらゐの金額で本当に十分なのか。

答 教育指導費で行っている研修は命令研修が主なもので、教員研究研修費で行っているものは選択研修で教員が自分で選択した研修に参加するものであります。これだけではまだまだ十分ではないと考えている。県にも教育研修所があり、県教委、中播磨研究所でも研修を行っていることから、タイアップを取りながら、できるだけ研修会多く持ちたいと考えている。

問 クラブ活動を通じ、生徒、教師のコミュニケーションを図ると言う意味においては競技レベルが低くても大事であるといえる。そこから信頼関係が生まれるのではないか。またレベルアップを図るために従事してもらうのとどちらがいいのか判断しにくい。先生のクラブ活動の指導意欲の減退に繋がるのではないか。非常勤講師へ丸投げしてしまうのではないか。

答 運動部については顧問の先生と講師という形で入っていただいている。現場の高齢化、女性比率向上により、剣道、相撲部などへは非常勤講師を配置している。顧問にはコミュニケーションを図ることをお願いしている。

問 学童指導員の勤務時間のチェックはだれが行っているのか。

答 月末25日に翌月勤務予定表があがってくる。それをもって勤務の認定を行い、月末に勤務状況報告書が運営委員長であるPTA会長からあがってくるので、それにて確認している。

委員長 更に研修を積み重ねられ、教職員の資質向上に努められたい。そのためにも様々な問題に取り組む研修を重ねられたい。更に研修費を増やされたい。

○ 終了 14時34分

○ 休憩 14時34分

○ 再開 14時45分

○ 環境局

○ 職員紹介 14時45分

○ 決算説明 14時49分

○ 質疑 15時26分

問 ステーション排出古紙選別業務委託料としてトン当たり2,000円を支払っているが、すでにステーションでは選別が済んでいるのではないか。

答 昨年も委託料2円について、算出根拠について質問いただいた。昨年度年末11月から12月にかけて1,300箇所のステーションを調査した。その結果、集団回収を登録しているところについては70パーセントほどが分別できている。集団回収に

て集めた古紙のうち2～3割分が分別できていない。集団回収せずステーションに排出しているところについて、新聞、雑誌、ダンボールを完全に分別しているところが24パーセント、ある程度分別できているところが40パーセントほどであった。ある程度の分別は必要であった。完全に分別されている24パーセント部分については委託料支払いがおかしいとの指摘を受け、自治会に集団回収の登録をお願いし、委託料として3円出ますと口頭でもパンフレットでも通知した。結果50団体ほどが集団回収を新たに実施した。規模の小さい自治会については手続の煩雑に見合うだけの収入が得られない事から、なかなか進んでおらず、西播古紙協同組合にてお願いしている。委託料については今後検討する必要がある。

問 古紙回収については平成10年に委託を開始した当時と比べ環境も変化した。当時は市況の低迷のため補助金という形態で行い、市況が回復すれば打ち切るものと理解していた。

答 資源化を図るため、という理由もあるが、今の焼却施設の能力、268日の稼働日数を300日稼働させ、焼却能力15万8千トンと17万8千トン処理し、不安定な状態で施設を運営している。安定してごみを減らすということで、ご理解いただきたい。古紙相場が急激に安くなった場合、集団回収事態が頓挫すると、ごみ量が一気に増え、危機的な状況になることから、当面は現在のまま制度を維持したい。

問 昨今古紙の値段が上がっているにもかかわらず、未だに委託料を払い続ける理由はあるのか。当初の趣旨もあわせてお聞かせ願いたい。

答 古紙の値段が上がった場合、古紙売り上げ収入が平成13年度3,000万円から平成14年度6,000万円となっている。古紙回収後、高い相場で購入し売却しており、その分収入も増加していることで理解いただきたい。

問 ステーション回収選別委託費2円について委託業務の内容をきちんと確認しているのか。

答 集団回収分の重量は計量できるが、ステーション分は計量できない。紙問屋6件あり、それぞれにごみを持ち込んでいる。紙問屋への指導を十分に行いたい。

問 ステーションにきちんと分別された上で出されている古紙のサンプリングを行い分別割合を見た上で委託料を決められてはどうか。

きっちりと見極めた上でもう一度検討したい。一カ所一カ所すべてを計量するのは難しいかと考えている。

問 西播古紙組合に加入しているのは何社か。

答 17社である。

問 金田組1社に対し年間12億円もの委託料を払うことにも疑問がある。競争原理を導入し、他社の参入を認めてはどうか。他社が入れない理由でもあるのか。

答 毎年入札で業者決定するのが一番いいかと思うが、可燃ごみのステーションが13,000箇所粗大ゴミが1,300箇所存在しており、その中で能率的に考えて他の業者を参入させることは難しいと考えている。新焼却場を建設したときに収集場や距離が変更したときに台数を増やす必要が生じたとき、考えてみたい。

短期的には難しいと思うが、長期的にはそういう方向で考えられたい。

問 自治会に対して出される助成金など他にあるか。

答 特にない。

問 姫路市社会福祉事業団へ委託している紙パック等選別作業業務について内容を教えていただきたい。

答 美化センターに集められた紙パックの蓋を取ったり、梱包したりする作業を、かしのきり9名にお願いしている。

問 仕事を更に増やしてもらいたいとか、単価を上げてほしいとの依頼はないか。

答 仕事については場所が手狭なのと一日中行なっていたり仕事ではないことから、

| | | |
|-----|--|--------|
| 要 望 | 現状のまま行ないたい。賃金についても同じようにかんがえている。 | |
| 問 答 | 福祉施策として更に充実されたい。 | |
| 問 答 | 重量税を課長名で請求しているが、その取り扱い方法について教えていただきたい 各所属の車両の車検時に課長名で前渡資金としていただき、それを業者に渡し業者 が車検事務所にて重量税を払い、その領収書をもって別の書類で清算している。 | |
| 問 答 | お菓子の紙などに見られるラミネートされた紙類はどう扱うのか。 | |
| ○ | その他紙として扱う。他の古紙とは違い処理費がかかる。 | |
| ○ | 終 了 | 16時17分 |
| ○ | 再 開 | 16時24分 |
| ○ | 公平委員会事務局 | |
| ○ | 職員紹介 | 16時24分 |
| ○ | 決算説明 | 16時24分 |
| ○ | 終 了 | 16時27分 |
| ○ | 再 開 | 16時29分 |
| ○ | 選挙管理委員会事務局 | |
| ○ | 職員紹介 | 16時29分 |
| ○ | 決算説明 | 16時29分 |
| ○ | 質疑・質問 | 16時37分 |
| 問 答 | 英賀保旧公設市場の管理費の内訳は。 | |
| 問 答 | 選挙備品倉庫として使用しており、その賃借料である。 | |
| 問 答 | 投票所のバリアフリーは進んでいるか。 | |
| 問 答 | スロープ設置や車椅子を購入するなどの取り組みを行っている。 | |
| ○ | 終 了 | 16時42分 |
| ○ | 再 開 | 16時43分 |
| ○ | 議会事務局 | |
| ○ | 職員紹介 | 16時43分 |
| ○ | 決算説明 | 16時43分 |
| ○ | 散 会 | 16時58分 |